※令和４年度以降入学生用

学校番号	308

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編 言語文化（東京書籍）						
副教材等	新訂版　最新国語便覧（浜島書店） 改訂版　読解をたいせつにする体系古典文法（数研出版） 新版　核心古文単語 351（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・あらかじめ本文を読み、自身の知らない漢字や語句等を辞書で調べて授業に臨むようにすること。
・自習範囲として指定された古文単語帳や古典文法の学習に積極的に取り組み、小テストでは常に満点を取ることを目標にすること。
・授業中は黒板を写すだけでなく、発問に対する答えを自分なりに持とうと意識すること。
そして、それを文章に起こす練習をすること。
・パフォーマンス課題が自身の興味関心に気づくきっかけとなるように前向きに取り組むこと。
授業で得た知識等を使いながら、自身の生活をより豊かにする能力を高めてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・漢字、語彙の学習に随時取り組み、一生ものの読解力、理解力（聞き取る力も含む）と表現力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・小説や古典を読み味わい、登場人物の心情の機微を読み取る力、ひいては他者に対する想像力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・我が国の言語文化とその特徴を理解し、自国のみならず他の文化を尊重する精神を身につける。
・書籍や新聞を読むことを通して、日常的に文章に親しむ態度を醸成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会生活を営む上で必要となる国語の知識や技能を身につける。話し言葉と書き言葉それぞれの特徴や役割、表現の特色を踏まえて適切に活用できるようになる。文法や修辞の学習を通して、日本語の特徴的な表現について理解を深める。	自己の考えを的確に伝えると共に、他者の反応や発言からその考えを理解し、互いを尊重しつつ議論をより良い方向に導いていけるようになる。その際、話の内容や構成に工夫を凝らし、目的や場に相応しい表現を選択する。自他の違いを認め、時にその比較を通して、自身の思考や想像力を豊かにしていく。	積極的に自身の考えを発表したり、他者と議論をしたりしながら、言葉そのものや表現の工夫などについて理解を深めるために努力を惜しまない。情報収集能力や語彙力、思考力を養うために、自ら文章に触れ、時には辞書を引くなど、自主的に言語活動を行う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	【古文入門】古文に親しむ ［教材］ 『宇治拾遺物語』「児のそら寝」 古文の基礎（歴史的仮名遣い） 古典文法（品詞の種類）	a:古典の世界に親しむために、古典読解に必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:内容や構成、展開などを的確にとらえている。また作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を理解している。 c:古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしている。また、登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発問評価
	【小説】触れ合う心 ［教材］ 『とんかつ』 古典文法（動詞の変格活用）	a:ことばの意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]:文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 c:文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもっている。また、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発問評価
二学期	【小説】葛藤する心 ［教材］ 『羅生門』	a:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の理解を深めている。 c:作品に興味をもち、小説の構成や登場人物の心情の変化をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発問評価
	【随筆】日々の思い ［教材］ 『徒然草』「奥山に、猫またといふものありて」 「雪のおもしろう降りたりし朝」 古典文法（動詞の正格活用）	a:古典の世界に親しむために、古典読解に必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]:自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c:随筆文学に興味をもち、作者の物の見方や感じ方を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発問評価
三学期	【詩歌】命をうたう ［教材］ 柳あをめる【短歌】 雪の深さを【俳句】	a:短歌や俳句の修辞技法を理解している。 b[書]:作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。また、そのことを適切に表現している。 c:詩歌に興味をもち、作者の世界の見方やその表現方法を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発問評価
	【漢文入門】漢文に親しむ ［教材］ 訓読の基本 （訓読、格言、再読文字） 虎の威を借る	a:古典の世界に親しむために、古典読解に必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:先人たちが漢文から学んだことばや考え方が、現在でも世間一般に通用していることを理解している。 c:漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発問評価

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※令和４年度以降入学生用

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　5　）時間

・読むこと　…　（　65　）時間